



▲そのがんばり 未来は君たちの手に（重富小持久走大会）

かごしま
あいら
市議会だより

No.7 12月定例会
平成24年1月31日発行

一般質問

16人市政を問う

10

固定資産税減免から免除へ

6

総合計画を策定

8

補正

特別支援学級を新設

4

企業誘致



▲新たな年に、すべての人々の幸福を願って（漆・田の神祭）

約
5000
人の
雇用

12月定例議会は、11月29日から12月21日までの23日間の会期で開かれました。

条例改正のほか一般会計補正予算、指定管理者の指定、請願・陳情などの議案を審査した結果、国保に関わる条例改正を継続審査とし、請願1件と陳情4件を採択、陳情2件を不採択としました。残りすべての議案を原案どおり可決しました。

また12月27日に開かれた臨時議会で、ヤマエ久野(株)への公共用地の売却を議決しました。

企業誘致

まちの活力を育む新規企業の誘致が実現しました。

始良市土地開発公社が所有する須崎地区公共用地内の雑種地の一部を市が取得し、「ヤマエ久野(株)」に売却しました。

地元雇用の創出や活性化も見込まれる優良企業の進出を促すために、3年間の課税免除を実施する条例の一部改正も議決しました。

(詳細は6ページに掲載)

指定管理者に 24施設

現在、指定管理者により維持管理を行っている21施設について、指定期間が23年度末となっているため次の管理者を指定しました。

また、これまで市の直営であった3施設について新たに指定管理者制度を導入しました。

(詳細は9ページに掲載)

総合計画 基本構想

平成24年度から30年度までの始良市総合計画策定条例の規定に基づいて、同計画基本構想を議決しました。

将来の人口8万人をめざし、県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくりの基本となります。

(詳細は8ページに掲載)

請願・陳情

請願1件、陳情6件を審査しました。

このうち陳情4件（1件は一部採択）と請願1件を採択し、陳情2件を不採択としました。

このほか女性議員4人から「防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書案」が提出され、全会一致で可決しました。

(詳細は7ページに掲載)



▲自治会で七草のお祝い（東原東自治会）のびやかな成長を見守りたい

住民の声を 市政に反映



議長 兼田 勝久

新年明けましておめでとうございます。

昨年も政治や経済の混迷に加えて、自然災害が発生するなど、大変な一年でありました。

災害復興における全国からの支援や励ましが「絆」の漢字として表現され、人と人との支え合いや他人を思いやる心が、いかに大切なことを教えられました。

現代の混沌とした社会において家族の絆、仲間の絆、職場の絆、地域の絆はこれからの社会形成の一つのキーワードになるでしょう。

さて、合併から二年を経過した始良市は、その効果が徐々に表れ、道路整備や企業誘致など元気なまちへと歩を進めています。

地域主権が叫ばれる今、市の意思決定機関としての役割が益々重要となっています。住民の声を市政に反映させるよう、議員一同頑張っ

て参ります。皆さまのこの一年のご多幸をお祈りして新年のごあいさつといたします。

人権擁護委員を推薦



久保山 靖氏
(52歳・上久徳)



川野 博敏氏
(68歳・平松)

平成23年12月13日から3年の任期です。

須崎用地に

一般会計補正予算

5億2,499万円増額

総額 278億9,091万円

補正

始良庁舎のフロアの改修、大雨等による災害復旧事業の経費をはじめ、農村振興総合整備事業や社会資本整備総合交付金事業費などが計上されました。

また条例改正により、職員の人件費に係る減額補正も組み込まれています。

市民生活に身近な単独浄化槽撤去補助金や、特別支援学級の新設と増員、道路舗装工事などです。
(詳細は4ページに掲載)

汚水処理

事前調査申請が提出されていた始良ニュータウンの汚水処理施設についての協議が整い、市に移管されることになりました。

旧町時代からの大きな課題が解決されます。
(詳細は5ページに掲載)

国保

厳しい状況にある国民健康保険税の税率改正の付託を受けた市民福祉委員会は、総務委員会と連合審査を行い、市民福祉

16人が一般質問

委員会は継続審査としました。
(詳細は5ページに掲載)

3日間に16人の議員が幅広い分野にわたり、市長の考えを質しました。
(詳細は10〜17ページに掲載)



▲大切な命を守りたい



▲心あたたかいもちつき大会は楽しいね

障がいのある児童に対しては、児童デイサービスを実施し、障がいの程度や年齢に応じた適切な療育を行っています。このサービスの効果が認められたことと、市内事業所の新規開設で利用者が急増したための計上です。安心して子育てができる環境整備が前進します。

障がい児デイサービスの対象者へ 市単独事業費 1390万6千円

質疑 障がい児デイサービスは、市内外8か所の事業所で実施している。利用状況と利用者負担はどのくらいか。
答弁 市内の事業所が65人、市外事業所17人である。サービスの利用者負担料は、非課税世帯は無料、課税世帯は1割の負担が発生するが、市が補助をしているので全て無料である。

単独浄化槽撤去 180万円
単独浄化槽から合併浄化槽への切替えに際し、合併浄化槽設置補助金に上乗せして、単独浄化槽撤去1基につき9万円補助します。今回20基分を追加し、23年度中の撤去数は50基になります。単独浄化槽設置基数は、平成22年3月末現在で6943基です。

単独浄化槽撤去 180万円

農道の舗装 1000万円
農村振興総合整備事業で加治木地区のほ場整備は、平成22年度に面工事は完成しています。高井田・屋ノ上・新西の3団地の農道は、降雨等で営農への支障や居住地に隣接し、利用者も多く安全を確保するため舗装します。年度内で完成する予定です。

農道の舗装 1000万円



▲路面舗装が待たれる農道

補正

安心して子育てできるまちづくり予算

安心・安全なまちづくり予算の身近な事業をピックアップしました。

特別支援学級の新設・改修

197万1千円

平成24年度、山田小学校に特別支援学級を新設します。
建昌・蒲生小学校では増員が予定されるため、今までの特別支援教室を改修します。
質疑 対象となる児童数は何人いるのか。
答弁 新年度4月の予定では、建昌小学校は自閉症・情緒障がいのある児童が3人、蒲生小学校は3人、山田小学校は2人である。



▲特別支援学級が改修される蒲生小学校

新1年生に 防犯ブザー

53万円

始良地区では旧町時から防犯ブザーを配布してきました。始良市になってからは、すべての1年生に防犯ブザーを配布しています。新1年生750人分です。これにより、始良地区では全員、加治木・蒲生地区では、2年生までの配布となります。

条例

汚水処理市へ移管

始良ニュータウン

旧始良町時代から、始良ニュータウン汚水処理施設を町に移管する請願が出されています。

移管に関する事前調査申請が出されていますが、今回団地管理組合法人との協議が整ったため、この施設を新たに市の管理とします。

このことにより市の管理する施設は、加治木町新生町と合わせて2施設となります。



▲移管が決まった始良ニュータウンの施設

質疑 この2施設の料金体系はどうなるのか。

答弁 加治木町新生町の使用料金と同額にすることは、始良ニュータウンの負担額が大きくなることから、5年間は激変緩和措置を実施し、5年後に使用料金を統一する予定である。

質疑 市内には処理施設を持つ団地はいくつあるか。また、それらの移管

についてはどのように進めるのか。

答弁 移管については、市条例で500人規模以上の団地と定められている。始良ニュータウン、ホームタウン帖佐、みさと台団地、朝日ヶ丘団地、南錦江団地の5つがある。今回の条例改正により、法人化の有無にかかわらず、団地管理組合より移管についての申請があれば調査検討する。

質疑 基金が積み立てられていると思うが、その取り扱いはどうなるか。

答弁 始良ニュータウン管理組合の有する基金は1億5000万円、その全額を市へ帰属させることになる。

職員の給与減額

760万円



▲仕事に励む市職員

現在の経済社会情勢を踏まえ、人事院勧告が出されています。

始良市でも職員の給与減額を実施し、平成23年4月からの減額分を12月の期末手当で調整します。

若い職員への影響をおさえ、50歳代を中心にして40歳代以上を念頭においた減額で、職員一人当たり1万2000円程度の引き下げとなり、総額で760万円の減額です。このことについて次のような議論がありました。

賛成討論

これまで人事院勧告を尊重して実施してきており、他の自治体との不均衡を生じるようなことはできない。

国において人事院勧告を廃止するような意見があるが、現時点においては勧告を尊重すべきである。

反対討論

引き下げ額は少なくても、人事院勧告を根拠に下げていくことで職員の士気も下がる。

また景気対策の観点から言えば、給与引き下げはデフレをさらに助長し地域経済の悪化を促進させることになる。

継続審査

国民健康保険税 値上げ

国民健康保険税は、合併協議会において、住民負担増は行わないとの基本的調整から、税率の一番低かった旧始良町に合わせた経緯があります。

医療費は年々増加しており平成24年度から26年度まで、年平均で2億3000万円が不足することが予想されています。

そこで一般会計より1億1000万円を繰り入れ、残りの1億2000万円を国保被保険者に負担をお願いするものです。

一世帯あたり現在より約10%増税になります。市民にとって影響の大きい議案であり、より慎重を期すため総務・市民福祉合同審査を行い、市民福祉委員会は、継続審査としました。

進出企業の固定資産税

減免から免除へ

始良市は、企業誘致や工業の開発を促進するため、工場を新設または増設する事業者に対し、3年間に限って固定資産税を初年度全額、2年目8割、3年目6割を減額してきました。

今回さらに進出を促進するため、近隣市との均衡を図り3年間の課税免除に改めます。

ヤマエ久野(株)進出 平成25年10月操業予定



▲須崎用地の進出予定地

須崎地区公共用地内の土地開発公社が所有する3万3698㎡の土地に、ヤマエ久野株式会社が進出することが決まりました。

処分価格は1坪当り4万5000円、総額4億5950万5000円です。

ヤマエ久野(株)は、鹿児島県へ進出したコンビニ、セブンイレブンの県内各店舗へ納入する弁当や、おにぎり等の食品工場および配送センターを建設する計画で、平成25年10月操業をめざしています。

製造部門で社員30〜40人、パート400人程度、配送部門でパート30〜40人の地元雇用が予定されています。

高齢者用肺炎球菌ワクチン接種への公費負担を求める陳情

提出者 小牧 伸一郎



▲予防で医療費の抑制

欧米での急速な接種率の向上に伴い、国内でも接種者が急増しています。

接種で肺炎の死亡、入院を軽減する事が可能となります。

市へ肺炎球菌ワクチン接種の公費助成実現に向けて取り組むことを求める。

議員発議

防災会議に女性の視点を取り入れることを求める

提出者 女性議員4人

政府は中央防災会議に3割以上の女性委員を登用させること。

地方防災会議の有識者枠は、都道府市区町村の長の裁量で設けます。

地方防災会議へ女性の登用を図るため、災害対策基本法の改正を行うことを国へ要望する意見書です。



▲防災に女性の視点を

横山 弘議員の 死を悼む



故 横山 弘議員

病氣療養中の横山弘市議会議員が、去る11月29日逝去されました。

横山議員は、平成7年5月、旧蒲生町議に初当選以来、町議4期、始良市議1期の途中でした。

その間各常任委員長や始良市初代農業委員会会長を務め、地方自治全般に多大な貢献をされました。

ここに改めて心からお悔やみ申し上げます。

陳情・請願

採択

5件

不採択

2件

郵政改革案の早期成立を求める陳情

提出者 吉野 政澄



▲早期成立を求めます

郵政民営化法に基づき郵便・貯金・保険の郵政三事業は民営分社化されて、郵便外務員に貯金や保険の取扱いを依頼できず住民不満の声が多い。昨年4月に郵政改革案が閣議決定され、国会に提出されたが、未だ成立しておらず将来が不安な状態です。一刻も早い成立を国へ要望する。

年金生活者のくらしの向上と年金制度の改革の陳情

提出者 野村 昭也

政府は税と社会保障の一体改革を、強行しようとしています。年金は「本来水準」と「特例水準」があり、その差は2.5%です。その差を3年程度で解消するため、支給額を引き下げようとしています。高齢者は年収150万円未満が半数以上です。税や社会保険料の増額で、使える金は減少の一途をたどっています。支給開始年齢の引き上げも、年金額の引き下げもできる状況ではありません。このような状況を改善することを要望する。

緊急事態基本法の早期制定を求める請願

提出者 東 洋一
紹介議員 堂森 忠夫

災害対策基本法は、国の避難指示、勧告はできても、命令はできない。決定権は各自治体であり、緊急時の対応に問題がある。外国からの侵略やテロ・騒乱などの有事、大災害、原発の臨界事故など、国家の安全における危機体制が不備である。2004年に与野党の三党合意により、緊急事態基本法を2005年の通常国会で成立を図る方向で整っていたが、合意は果たしていない。国へ早期制定を要望する。

国民健康保険税の引き下げを求める陳情

一部採択

提出者 野村 昭也

国民健康保険は「国民皆保険」制度の根幹をなすものであり、誰もが安心して医療を受けられる国保制度の確立を求めます。
1 一般会計からの繰り入れにより、国保税を引き下げること。
2 資格証明書の発行を中止し、悪質でない滞納者には保険証を交付すること。
3 国に対し、国保への国庫負担の引き上げを求めること。
3項目のうち1と2は実現が難しく、3の国庫負担の増額については賛成すべきであることから、陳情の一部を採択しました。

意見書

陳情・請願の趣旨に沿った意見書を関係機関に送りました。

泊施設の問題は別々に考えた方がよい。アイル・アキラ跡地については、「地域包括ケア施設」としての事業展開を考慮しているとのこと、その推移を見守りたい。

不採択の理由

アイル・アキラの件と、不足する宿泊施設の問題は別々に考えた方がよい。アイル・アキラ跡地については、「地域包括ケア施設」としての事業展開を考慮しているとのこと、その推移を見守りたい。

趣旨

津波防災地域づくり法「案」の施行と旧アイル・アキラ

健康増進の目的をもったプール建設は必要である。しかし、選手の育成強化を目的としたプールの床面が昇降する方式は、あまりにも多額の経費を要するため、市民の理解が得られないと思われる。

不採択の理由

健康増進の目的をもったプール建設は必要である。しかし、選手の育成強化を目的としたプールの床面が昇降する方式は、あまりにも多額の経費を要するため、市民の理解が得られないと思われる。

趣旨

高齢化社会を迎えて医療費の増加が続いているため、始良市では市民を対象として水中運動教室が、民間プールで実施されている。年間を通じて利用できる室内型で、地元選手の育成を考え、50mプールを建設してほしい。

始良市プール施設建設

始良市総合計画の 基本構想が決まる

総合計画は、まちづくりのめざすべき将来像を示し、中長期にわたる施策の柱を定めるもので、市民の福祉向上と始良市が発展するために必要な指針です。

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画によって構成されます。

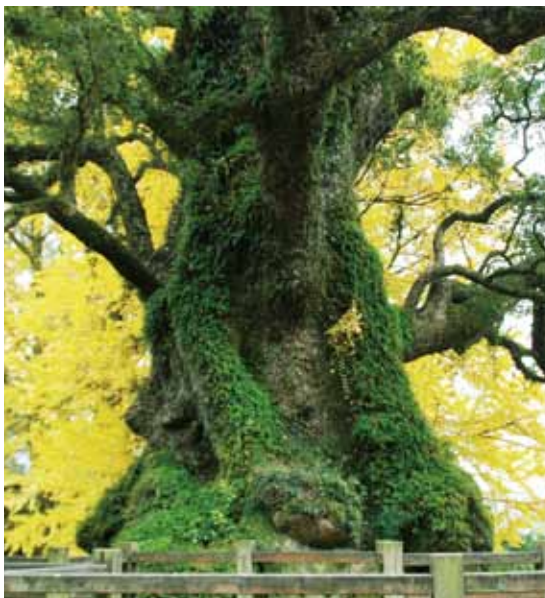
12月議会では、基本構想が議案として上程され、特別委員会を設置して審査した結果、賛成多数で可決されました。

基本構想は、まちづくりの基本理念と市の将来像を掲げ、それを実現するための基本的枠組みを示しています。計画期間は、平成24年度から平成30年度までの7年間です。

基本計画は、基本構想で掲げた将来像を具体的に示すとともに、実現する段取りや、計画を着実に推進していくための考え方を示しています。計画期間は、24年度か

ら26年度までの前期3年間と、27年度から30年度までの後期4年間としています。

実施計画は、基本計画で示された施策の体系に基づいて、具体的な事務事業の内容について毎年3か年の計画を策定して実行します。



▲大地に根を張る大楠のように逞しい市をめざす

討論

賛成 25人

合併して最初の総合計画の基本構想が提案された。農山村の価値観を継続するための集落支援制度等の施策で、合併によって集落が寂れはしないかという心配が払しょくされた。

反対 2人

霧島市は、テーマ別に現状と課題、方針、目標値等を明示している。始良市は、目標値が示されず、7年間でどう進め、どこまで到達するのか明らかでなく、抽象的である。

総合計画の構成

イメージ図

基本構想

【基本理念】 「県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり」

- 【将来像】
- 市民・地域と行政が協力しあい、一体感あふれるまち
 - 子どもを安心して生み育てることができる、子育て支援のまち
 - 豊かな人間性を育むまち
 - 生涯すこやかで、ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち
 - 快適で暮らしやすいまち
 - 地域資源を活かした活力ある産業の育つまち
 - 環境にやさしく、豊かな自然と共生・調和するまち
 - 経営感覚を持った行財政運営のまち

【将来人口】 始良市のめざす将来人口 80,000人

基本計画

将来像別基本計画の8項目の実施

【重点プロジェクト】

施策分野を越えて、特に重点的に取り組む施策を次の3つの視点から位置付け。

子育て・教育

総合的な子育て環境づくり

地域・協働

地域の活性化と多様な主体による協働・交流の推進

安全・安心・活力

安心・安全で、活気のある生活環境づくりの推進

公の施設の指定管理者が決まる

指定期間は平成24年度から5年間

始良市には、始良市総合運動公園、始良市文化会館（加音ホール）、始良市蒲生体育館（おおくすアリーナ）など公の施設が沢山あります。

指定管理

行政に代わって公の施設の管理を行うことで、公の施設の管理権限の指定を受けた者に委任することです。

従って、指定管理者の選定にあたっては、始良市の条例で次のように定められています。

- ①事業計画に基づく施設運営が、住民に対して平等性を確保できること。
- ②事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮させ、管理に要する経費の削減が図られること。
- ③事業計画に沿った管理が、安定して行える物的能力及び人的能力を有すること。



▲始良市総合運動公園アリーナ

常任委員会の審査の過程で、次のような議論が交わされました。

○契約年数5年について

競争の原理が働かぬのではないかと、

○契約期間が短い場合は、物的・人的投資を行い、これからという時に撤退しなければならぬ可能性が懸念される。

複数の体育施設を一括指定することについて

○競争原理が働かずデメリットになる。

○市内の施設を一元管理することで、大規模な大会に対応できることと、総合的に活用できることが最大のメリットと思われる。

指定管理一覧表

番号	対象施設名	新指定管理者	応募者	旧指定管理者
1	龍門滝温泉	福永建設株式会社	2	福永建設株式会社
2	住吉池公園	NPO法人パブリックマネジメント鹿児島	1	NPO法人パブリックマネジメント鹿児島
3	加治木福祉センター	社会福祉法人 始良市社会福祉協議会	1	社会福祉法人 始良市社会福祉協議会
4	加治木ふれあいセンター			
5	始良高齢者福祉センター			
6	蒲生高齢者福祉センター			
7	始良デイサービスセンター			
8	加治木農産加工センター	加治木町農産加工(株)	非公募	【市直営】
9	始良生活改善センター	北山校区地域コミュニティ協議会	1	【市直営】
10	始良農産加工センター	(株)始良農産加工	非公募	【市直営】
11	上名地区農村振興センター	上名地区村づくり委員会	非公募	上名地区村づくり委員会
12	蒲生生活改善センター	漆地区公民館	非公募	漆地区公民館
13	蒲生農産加工センター	(有)蒲生農産加工	非公募	(有)蒲生農産加工
14	蒲生物産館（くすくす館）	蒲生の恵み協同組合	2	蒲生の恵み協同組合
15	始良市さえずりの森	NPO法人四季の会	2	始良西部森林組合
16	始良市林業活性化センター	始良西部森林組合	非公募	始良西部森林組合
17	始良市龍門陶芸・健康の里	龍門司焼企業組合	2	龍門司焼企業組合
18	始良市総合運動公園	NPO法人始良スポーツクラブ	2	NPO法人始良スポーツクラブ
19	始良体育センター			
20	始良弓道場	始良弓道部	非公募	始良弓道部
21	蒲生体育館（おおくすアリーナ）	NPO法人始良スポーツクラブ	4	(株)文化コーポレーション
22	大楠運動公園球技場			
23	大楠運動公園多目的屋内運動場			
24	始良市蒲生弓道場	蒲生弓道部	非公募	蒲生弓道部

目的と効果

市長／救命率向上や後遺症の軽減

ドクターヘリ



和田里志議員

和田 医師等が速やかに現場に出動し傷病者に対し必要な治療を行うとともに、医療機関に短時間で搬送できるドクターヘリが導入されるが、本市の取り組みと市民への広報について問う。

市長 救命率の向上や後遺症の軽減につながることを期待されており、その離着陸場所（ランデブーポイント）を46か所確保した。市の広報紙等様々な媒体を用いた広報周知を予定している。

新しい資源物の方式 市長／25年度以降実施

和田 蒲生地区は、袋方式からネット・コンテナへの変更、加治木地区は名称と分別の種類の変更である。

始良地区での新しい資源物方式について、調査結果を問う。

市長 蒲生・加治木地区は、24年1月から試行期間を経て4月から本格実施する。



▲加治木運動場で実施されたドクターヘリの訓練

始良地区はアンケート結果、現状の通りとし将来的には計量廃止の方向で、統一した補助金制度として25年度以降本格実施したい。

その他の質問

- 副市長の去就と体制
- 公園等遊具の維持管理

問う

一般質問

資源物収集

始良地区の統一化

市長／25年度以降本格実施



湯川逸郎議員

湯川 蒲生・加治木・始良地区で資源物収集の統一化で、今日までのように協議し、方向性をいつ定め、試行をいつから行うのか。

市長 新市1年目は、資源物の分析・研究し、23年は、蒲生・加治木地区の収集体制一部統一する条例改正を行った。始良地区は、市民からの意見があり、24年度は準備期間として、25年度以降に本格的に実施したい。

湯川 (仮称)松原小学校の校区割は、現在の建昌小学校の校区割で、松原上自治会の校区割の基準を示せ。

(仮称)松原小の校区割
教育長／建昌小から4自治会分離

- 始良警察署移転に伴う取付け道路の整備計画
- 汚水処理施設現況調査



▲市民の負担軽減を

学校の施設整備

優先度の判断基準

教育長／児童生徒の安全確保



本村良治議員

本村 学校の施設整備の優先度は、どのような判断基準で決めるのか。

また、合併後に何件ぐらいの要望があり、そのうち何件が処理されたか。
教育長 整備の優先度は、建物の雨漏りやコンクリートの亀裂箇所、遊具の腐食など児童生徒の安全確保を優先して、危険個所の改修を進めている。合併後、現在までに695件あり24件を処理している。

高齢者の移動手段の確保

市長／有償運送制度の実施

本村 移動手段を持たない高齢者が、入浴券を利用し易くできるような新しい福祉事業を検討する予定はないか。

市長 高齢者の引きこもり防止や、健康増進を図るために温泉保養券を交

付している。

身体機能の低下に伴う高齢者等の交通手段を確保するために、NPO法人が行うドア・ツー・ドアの個別輸送制度を実施する作業を進めている。



▲未整備のままの木製の廊下

市政を

16人が



笹井義一議員

県道と住環境 併せて整備

市長／必要性と有効性は認識

帖佐駅周辺

笹井 帖佐駅から蒲生を向いて、左側の建昌小学校までの区域は、軽自動車しか通れず、右側の旧江夏建材跡地までの範囲は、軽自動車も通行できない住環境である。
県道整備だけでは、帖佐駅前地域の活性化は期待できない。
街路菅原線と併せて小規模な土地区画整理事業を実施して、総合的に整備する必要があると思う。
市長の考えを問う。
市長 帖佐駅前周辺整備については、整備の必要性を認識している。



▲こんなに狭いです

また、周辺の住環境整備についても区画整理事業が有効であることも認識しているが、事業の特徴として、多額の費用と年数を要すると同時に土地の減歩等制約や負担に伴い、地権者の同意が不可決である。
総合計画や都市計画マスタープランとの整合性を図りながら検討したい。
その他の質問
○桜島サーブエリアのスマートインターチェンジの設置

鳥獣被害

被害防止対策

市長／早急な対策必要



玉利道満議員

玉利 野生鳥獣による被害は、農山村の暮らしに

深刻な影響を及ぼしている。市長は、この現状をどのように認識し、対策を進めていくか。市長 鳥獣被害は、中山間部を中心に増加傾向にあることは承知しており、早急な対策が必要であると認識している。

被害を防止・軽減するには、個人の取り組みでは限界があり、地域一体となった被害防止対策を推進するとともに、国や県の事業を活用した箱わな等の貸し出しや、柵の設置等の支援を実施したいと考えている。



▲電気柵現場での実演研修

林業の活性化

市長／整備の必要性は十分認識

玉利 森林は水源の涵養、山地被害の防止に重要な役割を果たしている。

林業の活性化のためにも部分林の検討をする必要はないか。

市長 本市の部分林条例では、収益分割合は旧町時に比べ有利な割合になっている。

今後とも、申請者に有利な方向で変更できないか研究する。

管理条例の制定を

廃屋・空き地

市長／規定は難しい



神村次郎議員

神村 空き家・廃屋・空き地が増加している。

出火・庭木の繁茂・不法投棄等心配されている。管理条例は制定できないか。

市長 現在、環境美化条例等で改善勧告・命令を行っており、その事実を公表することもできる。



▲不法投棄が心配な空き家

他県では、罰則や行政処分までできる空き家・空き地等の管理条例が制定されている。本市では、財産に関わることの規定は難しい。

蒲生高校存続への市の支援策

教育長／可能な支援に取り組む

神村 生徒数が減少し県内高校の統廃合・再編整備が進められている。

蒲生高校の存続方策・市としての支援の方策は、検討できないか。教育長 少子化の影響で

生徒の確保に苦慮している状況もあり、市内中学校と高校の校長との情報交換の場を計画している。子どもが安心して進路選択できる環境を整え、市内の公立高校が廃止にならないように、可能な支援に取り組む。

その他の質問

- 農業用排水路の管理
- AEDの普及方策

各種納税

コンビニで納付

市長／平成25年度実施予定



堂森忠夫議員

堂森 コンビニは、各銀行と提携し顧客サービスに努めている。

また、緊急事態に備えた市民生活環境には必要不可欠な施設だ。

役所が休みでも納付できる、24時間対応のコンビニで各種納税ができるシステムにしたらどうか。



▲コンビニでの納税を待ち望む市民

市長 納税者の利便性の向上に大きく寄与する中で、平成25年度に、コンビニ収納を市県民税、固定資産税、軽自動車税及び国民健康保険税等について実施する予定である。

鳥獣捕獲手当の支払が遅い

市長／支払時期は検討

堂森 猿が老女に噛みつく被害があった。

鳥獣有害駆除の待遇改善等が求められるが、鳥獣捕獲手当支給の遅い理由は何か。

市長 野生動物の出没や被害の通報時に職員が確認後、市有害鳥獣捕獲隊に捕獲指示する。捕獲補助金の支払い時期は要望があれば検討するが、年2回支給している。

その他の質問

- 商工会への補助金
- 市の施設管理
- 国際姉妹都市

農地・宅地等

雑草を刈り取れ

市長／書面等で適正管理



田口幸一議員

田口 農地、雑種地、宅地等の空地に雑草が繁っている。

その刈り取りをどのように考えるか。

農業委員会会長 平成22年度は、遊休農地で6282筆、面積で397・4ヘクタールあり、その内、住宅地域内の遊休農地は、1263筆、面積で54・7ヘクタールある。

苦情があった農地は11月末現在67件である。

市長 区画整理地内で、雑草が繁った地権者に書面で雑草除去と適正な管理をお願いしている。

また、現場写真を同封し催促している。地権者が死亡している時は、納税管理人にお願いし、納税管理人が確認できない時は、戸籍により相続人を調査し、雑草除去をお願いしている。

その他の質問

- 高牧自治会の飲料水
- 国保財政運営
- 各団地の汚水処理



▲雑草が繁り付近住民は困っている

清流・渚保全条例

美しい水を守れ

市長／環境基本計画策定後に制定を研究



出水昭彦議員

出水 平成24年2月に、錦江湾国立公園拡充再編もあり、始良市の河川・渚の美しい水を守るため、清流・渚保全条例を制定する考えはないか。
市長 河川の水質に関しては、環境基準5項目を毎年調査・監視しているが、河川に流入する用水



▲美しい河川・渚を後世に伝えよう（別府川）

路などで基準値を超えるか所がある。
平成24・25年度に環境基本計画の策定を準備しており、その後条例など制定について研究する。

公民館制度再編の進捗

教育長／統一は容易でない

出水 地域のコミュニティは「地区公民館」「校区公民館」「自治公民館」と違う方式であるが、その再編の進捗状況はどうか。

教育長 合併協議会の協定項目で、新市における公民館組織のあり方は、これまでの歴史的経過、地域特性を踏まえ協議調整するとしている。

今後のあり方は、地域住民の意向を踏まえ検討を重ねるが、現段階で統一は容易ではない。

その他の質問

○市有施設の改善

景気対策

3事業に取り組み

市長／検討・実施する



森川和美議員

市長 全国各地で住宅リフォーム助成制度活用が進んでいる。
①助成には、耐震改修、高齢者住宅対策、介護対策、若年者定住などの種類がある。県内でも4市が実施予定とのことで、本市も、調査研究する。
②プレミアム商品券の支

援等については、始良市商工会発足に合わせて、商工会合併記念事業として、発行への助成を実施したいと考える。
③入札執行残事業については、一部執行しているが今後も有効な予算執行に努める。

その他の質問

- 来年度の予算編成
- 税外収入対策
- 行財政改革

森川 景気が後退局面に向かっている。経済低下を最小限に食い止めるため、次の3事業に取り組み考えはないか。
①住宅リフォーム経費に10万円を上限に10%助成。
②商工会が発行する商品券の1割上乘せと、印刷費、広告費を市が負担。
③本年度の単独普通建設事業の執行残の6割を活用し、道路や側溝の整備をする。



▲住宅リフォームに助成制度を

県警再編

交番存続

市長／難しいのではないか



里山和子議員

里山 鹿児島県警の再編計画により、市民に身近な重富交番と山田駐在所が廃止され、始良交番に統合される案になっている。地元説明会を開いて、両方とも存続の方向で県警に働きかけはできないか。

自然エネルギーの活用

市長／環境基本計画で検討

里山 始良市は環境モデル都市をめざしたらどうか。

- ① 風力発電の可能性
- ② 水力発電の可能性

- ③ 太陽光発電の可能性
 - ④ 森林資源の循環利用
 - ⑤ 省エネ施設の建設（今後建設予定の箱物等）
- 市長 風力・水力・太陽光発電の可能性や利活用、森林資源の循環利用については、環境基本計画や地球温暖化防止計画を策定する中で検討する。

- **その他の質問**
- 総合支所にも事業予算を
- 子育て支援



▲交番存続で安心安全を（重富交番）

学校等でフッ化物洗口

教育長／実施の可否は十分研究

むし歯予防



竹下日出志議員

竹下 むし歯予防に効果があるフッ化ナトリウム「フッ化物洗口」を、本市の各保育園、幼稚園、小・中学校で実施する考えはないか。

教育長 学校等でフッ化物洗口を実施する場合、全ての保護者の同意が必要であること、教師が一斉に指導するための時間確保などが課題である。今後、実施の可否については、十分研究する。

錦原・南宮島線の交差点に信号機設置

市長／県警本部へ上申中

竹下 本市では、主要幹線道路の整備が進み、交通量の増加に伴い、交通事故が多く発生している。始良小学校の通学路内の交通事故防止対策として、市道錦原線と高樋（南宮島線）の交差点に信号機を設置できないか。

市長 この交差点については、始良警察署も信号機設置の必要性を認めており、県警本部に上申中とのことである。

- **その他の質問**
- 障がい者が暮らしやすい環境づくり
- 円滑な投票所の整備



▲「フッ化物」うがいでむし歯予防（川野保育所）

防災対策

HUG (避難所運営ゲーム)

市長／実践的な運営を研究



新福愛子議員

新福 HUG (ハグ) Ⅱ
抱きしめる (H避難所・
U運営・Gゲーム) は、
避難所の運営を皆で考
えるためのアプローチとし

て静岡県が開発したもの
である。
押し寄せる避難者の配
置や避難所で起こる様々
な出来事への対応を模擬
体験できるゲームである。
本市での取り組みは考
えないか。
市長 現在、避難所運営
マニュアルに沿って対応
する体制となっているが、
HUGの実践的運営が可
能か今後、研究する。



▲避難所運営を皆で考えるハグゲーム (静岡県での研修風景)

歳入確保への各種取り組み

市長／実現に向けて検討

新福 安定した自治体の
経営を目指して、公用車
への企業広告や公共施設
へのネーミングライツの
実施を考えないか。

市長 ネーミングライツ、
公用車や広告紙以外の印
刷物など有料広告を掲載
する媒体の拡大などに
ついて、庁舎内に調査研究
を行う組織を設置し、そ
の実現に向けて検討する。

その他の質問

○3ワクチンの進捗状況
と高齢者の肺炎球菌ワ
クチン公費助成
○ドクターヘリ

※ネーミングライツ：公共
施設等にスポンサー企業
の社名やブランド名を付
与することで公共団体が
収入を得ること。

景観行政団体

市長／手続きを進める

景観法



法元隆男議員

法元 景観法に関する基
本的な考え方を問う。

市長 本市においても、
美しく風格のある国土の
形成、潤いのある豊かな
生活環境の創造、及び個
性的で活力ある地域社会
の実現を図るためにも、
景観法に基づく景観計画
を定めることは必要であ
ると考える。



▲整備された金山橋

法元 景観行政団体への
取組みについて本市の現
況はどうか。

市長 今後の景観行政の
推進について県と協議し
手続きを進めていく。

法元 都市計画マスター
プランへの位置付けにつ
いて問う。

市長 郷土的景観、歴史
的環境や特色あるまちづ
くり資する都市景観を
形成するため、総合計画
に即した内容で検討する。

金山橋周辺整備

市長／24年3月完成予定

法元 金山橋と板井手の
滝を望む場所 (ビューポ
イント) の整備の進捗状
況を問う。

市長 平成24年3月下旬
を完成予定としている。

その他の質問

○副市長人事

バイオマス

始良市の構想は

市長／国の施策で対応



上村 親議員

上村 本市のバイオマスタウン構想はどうなっているのか。
 地域エネルギービジョンと新エネルギー導入の取り組みを示せ。
市長 本市の構想を策定する予定であったが、本年4月で終了し、今後は国で推進計画を策定し



▲新エネルギーへの活用が期待される竹

の施策で対応する。廃棄系及び木質バイオマス賦存量を把握し、利活用システムの構築や事業化に向けての可能性について、検討することができた。

「道の駅」設置計画

市長／関係機関と協議

上村 道路利用者のための休憩機能、情報発信機能、隣市相互の連携機能を持つ施設「道の駅」の設置計画はできないか。

市長 始良市総合計画に道の駅的な施設の構想を盛り込んでいる。

この施設を活用することで、生産者の所得向上や雇用創出及び交流人口の増加など複合的な地域活性化が期待できる。整備方法、運営方法や整備時期等は、関係機関と協議する。

肺炎球菌

ワクチン接種費助成せよ

市長／24年4月実施を考えている



堀 広子議員

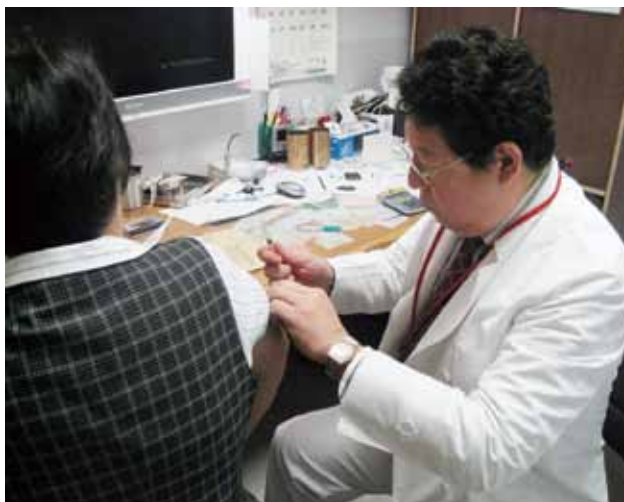
堀 肺炎は高齢になるほど増加している。予防医療として、肺炎球菌ワクチンがある。1回の接種で5年間は有効で、インフルエンザワクチンと併用するとより効果がある。医療費の削減効果も高いことから、肺炎球菌ワクチン接種費に公費助成はできないか。

市長 24年4月から、70歳以上を対象に3000円の助成ができるよう考えている。

国保税値下げ

市長／一般会計から繰入れ見込み

堀 国保税の値上げが、予定されている。ますます滞納が増え、資格証の発行↓医療抑制↓病気の悪化↓医療費が増↓国保税の値上げ↓滞納が増える。



▲ワクチン接種費用に助成が始まる予定です

る、と悪循環の繰り返しとなる。値上げをしなくていいように、一般会計からの繰入れはできないか。
市長 3か年の措置として値上げになる分の約半分を一般会計から繰入れ、残りを被保険者が負担することになる見込みである。

その他の質問

○改定介護保険

先進地に学ぶ

委員会
レポート

大分県大分市 PFI方式の庁舎建設

総務

11月17日、大分市の鶴崎総合市民行政センター整備事業を調査しました。

〔研修内容〕

庁舎建設は、PFI事業（建設や維持管理・運営等を民間資金・経営能力及び技術能力を活用すること）方式です。

地域の中核施設として市民に開かれた庁舎で、

多様な市民ニーズに対応した施設として平成17年に使用開始されています。

PFI方式のメリットは、経費が安く、経費を分割して支払える、価格と質のバランスがとれることです。デメリットは建設に時間がかかる、工事途中で変更が困難なことです。

鉄骨4階建てで、終日

市民に開放されています。防災の拠点施設として、2階に通信施設も備えられています。

〔感じたこと〕

PFI事業による建設は、財政的な平準化を図れるなどのメリットがあります。

今後、始良市でも研究する必要があることを感じました。



▲熱心に意見を交わす委員

佐賀県嬉野市

議会基本条例の取り組み

議会運営

始良市議会では「開かれた親しまれる議会」をめざし、議会基本条例の制定に取り組んでいます。

11月21日、嬉野市で議会基本条例について調査しました。

〔研修内容〕

なぜ条例を制定したのか
議員の動きがよくわからないの声や、全国的に

議会報告会

議会活動の様子等を市民の方に、お知らせする報告会を開きます。

全議員で役割を分担して臨みます。

問題点は
議会報告会に参加者が減少してきたこと、市民のニーズにどう応えるかが課題です、と多くの示唆をいただきました。

始良市議会も、市民の皆さんとの対話ができることを願ひ、議会基本条例の制定に取り組んでいます。



▲PFIの説明を受ける委員

四季の会の目的は「春夏秋冬」 森をまもり美しい森林を 未来へつなぐ

活動の柱は森林の整備 と森林環境教育

四季の会は、「鹿児島
緑の基金」が主催する、
平成の山学校第4期生28
人が、森林ボランティア
団体として設立しました。
四季は、4期生と重ねて

春夏秋冬森をまもり、美
しい森林を未来へつなぐ
という思いを込めて命名
しました。

平成20年にNPO法人
化し、その翌年には正式
に「始良市米山」地域の
帖佐小学校近くに活動拠
点を構えました。

未来へつなぐ

活動の柱は、森林の整
備と森林環境教育で、「建
昌城跡地」が活動の代表
的な拠点です。

建昌城跡地は、平成20
年から整備を行ってきた
ましたが、平成21年度から
23年度まで「ふるさと雇
用特別再生基金事業」を
導入できたことが大きな
契機でした。

再生事業として芝張りや
景観整備にも取り組んで
います。

森林整備と景観づくり
には、多くの時間と人手
を要しますが、必ず始良
市の憩いの場になること
を確信しています。

森林整備活動の主な内
容は、

- ① 植樹・育樹活動
- ② 除間伐材等の搬出作業
- ③ 歩道の整備
- ④ 竹林整備活動
- ⑤ 樹名板・巣箱の設置
などです。

森林環境教育活動の主
な内容は、

- ① 森林環境教室
 - ② 炭焼体験・椎茸・筍な
どの林産物収穫体験
 - ③ 椎茸駒打ち・ほだ起こ
し体験
 - ④ 森の散策と自然観察
 - ⑤ 森林・林業体験バスツ
アー
- などがあります。

森林環境活動は、自然
と親しむ中で、森林の働
きや役割を学び触れ合う
ものです。
これまで、子どもたち



▲熱心に聞かいる森林体験教室

森林整備と景観づくり は時間と人手が必要

「歴史と憩いの森」づ
くりには、桜や広葉樹の
植栽、下草刈り、つる切り、
葛つる処理の作業を行い、
林内の整理伐採や遊歩道
の開設など、広範にわた
る整備を行ってきました。

一方、上名地区の市有
林では、竹林整備に併せ
て竹材の粉砕、遊歩道の
開設、施肥を行い、北山
地区の幸風園跡地では、

地域に根付いた活動が 始良市の活性化に貢献

をはじめ多くの方々に喜
んでもらいました。

今後より多くの人々
に森林を身近に感じても
らうと同時に、森林の魅
力を共有してもらうため
に、環境に配慮しながら
取り組んでまいります。

四季の会が地域に根づ
いた活動を行うことで、
始良市の活性化に僅か
も貢献できる役割を担い、

始良市の応援団であり続
けたいと願っています。

平成24年4月から「始
良市さえずりの森」の指
定管理を受けました。
皆様のお越しをお待ち
申し上げます。
文責：理事長 塩川英彬



▲木材の整理伐採





▲韓国高校生と交流する蒲生小児童

子どもたちの未来のために

—韓国との交流を通して—

蒲生町国際交流協会 中野 まなみ



交流学生750人

私が所属する蒲生町国際交流協会では、年2回ホームステイを通して日

韓の交流事業を行っています。18回目を迎えた大楠どんと秋祭りでの韓国国立伝統芸術高校の演奏公演と始良市内でのホームステイ事業、もう一つは今年14回目を迎えた小中高校生の夏休み期間中のソウルでのホームステイ事業です。

来した学生は750人へのほり、受け入れてくださった家庭の数は延べ400軒を超えました。文化や生活習慣、言葉の違いに戸惑いながらも、お互いを理解したいという一念で、身振り手振り、ありとあらゆる手段を導入して、結局は、鹿児島弁が一番通じたという笑える話もありました。

困難をのり越えて

長い交流の間には、いくつもの困難にもぶち当たりました。日韓の歴史問題が浮上するたびに何度も話し合い「子どもたちの未来のために」と心をひとつにしました。

新しい文化の芽生え

工夫をしたことで新しい副産物も生まれました。

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

次回の開会は
2月下旬予定

広がる活動

この交流で韓国の伝統打楽器を学んだ子どもたちが蒲生郷」という伝統打楽器、舞踊を楽しむグループも誕生しました。いまでは小学1年生から大人までの18人が毎週土曜日に集まって、一生懸命練習に励んでいます。嬉しいことに蒲生の地に日本と韓国が融合した新しい文化の芽生えを感じています。

蒲生町国際交流協会にあって5年目。活動の範囲も始良市内へと広がっています。社会教育とは人への投資です。長い年月をかけて徐々に効果が現れます。始良市の未来のためにこれまでの活動をご理解いただき、これからも暖かく見守っていただけたら幸いです。

編集後記

過ぎ去った平成23年。大災害の頻発した年として、私たちの記憶の中に永く生き続けることは間違いありません。今年こそ、災害のない平穏な年になることを念じて止みません。

議会だよりの編集に携わりながら、いつも気にかかっていることは、市民の皆さんが、「どれくらい興味を持って、読んでくださっているのだろうか。」「議会のことが、しっかり伝わっているのだろうか。」「ということ。」「ご意見など、お寄せいただければ幸いです。」(湯之原)

- | | |
|------------|--|
| 発行責任者 | 議長 兼田 勝久 |
| 広報等調査特別委員会 | 委員長 河東 律子
副委員長 新福 愛子
委員 笹井 義一
委員 竹下日出志
委員 堂森 忠夫
委員 堀 広子
委員 安田 久
委員 湯之原 一郎 |